

## 第1部

■講演：「世界的なエネルギーシフト、地域からの挑戦」

■講師：飯田 哲也氏

## 第2部

■パネルディスカッション

崎山比早子氏「放射線はなぜ、どのように健康に影響するのか」

堀内 道夫氏「地域・再生可能エネルギーへの挑戦」

丸山 重威氏「安全神話とメディア—過去、現在」

●コーディネーター 鈴木 雄一氏

原発のリスクを語らず、あの福島のと酷な事故。  
それでもなお「安全神話」で再稼働へとまっしぐら。原発回帰でいいのでしょうか？  
一度事故が起きたら、手を付けられないのが原子力エネルギーです。地震列島日本で、  
原発事故に怯える生活はごめんです。原発に代るエネルギーは何があるのでしょうか？  
みんなで一緒に考えませんか。  
生命の為に、地球の未来の為に、次世代に青い地球をバトンタッチする為に、今を生きる  
私たちの責任です。

### 飯田 哲也

認定NPO法人  
環境エネルギー  
政策研究所 所長

1959年 山口県生まれ。京都大学大学院工学研究科原子核工学専攻修士課程修了。

現在、認定NPO法人環境エネルギー政策研究所（ISEP）所長。

原子力産業や安全規制に従事後、「原子力ムラ」を脱出して北欧での研究活動や非営利活動を経てISEPを設立し現職。持続可能なエネルギー政策の実現を目指し、提言・活動を行っている。多くの国や地方自治体の審議会委員を務め、世界中に幅広いネットワークを持ち、特に3.11以降、世論をリードするエネルギー戦略を打ち出す。2014年から、全国ご当地エネルギー協会事務総長をつとめ、地域からのエネルギーシフトを進めるために全国を奔走中。著書に『エネルギー進化論』（ちくま新書）など多数。

### 崎山比早子

医学博士  
元 国会事故調査員  
高木学校メンバー

千葉大学医学部 卒業。

マサチューセッツ工科大学研究員。

放射線医学総合研究所主任研究官を経て高木学校メンバー。

### 堀内 道夫

(株)光と風の研究所  
代表取締役  
静岡大学工学部  
客員教授

静岡大学工学部工業化学科 卒業。大日本印刷(株)研究所、米国駐在・技術アタッシュ、M.I.T.リエゾンプロメンバー、教育出版の経営などを経て現職。JIS委員、日本電子出版協会設立など幅広く活躍。

まちづくりと再生可能エネルギープロジェクトを数多く手がけ、現在、発明協会審査委員、日本中小企業団体連盟副会長、全国小水力利用推進協議会、鹿児島県小水力利用推進協議会理事ほか多数就任。

### 丸山 重威

ジャーナリスト  
元 共同通信社編集局  
関東学院大学教授

静岡県浜松市出身。早稲田大学法学部から共同通信入社、社会部を中心に活動、編集局次長、情報システム局長を務めた。退職後、関東学院大学法学部教授。中央大学兼任講師。法政大学ボアソナード記念現代法研究所客員研究員。専門はジャーナリズム論。

現在、日本ジャーナリスト会議事務局次長、日本民主法律家協会「法と民主主義」編集委員などをつとめる。著書に「新聞は憲法を捨てていいのか」（新日本出版社）、「民主党政権下の日米安保」（花伝社）、「これでいいのか日本のメディア」（あけび書房）など。

### 鈴木 雄一

一般社団法人  
日本社会連帯機構  
副代表理事

山形県生まれ。埼玉県立川口工業高校卒、JEC連合（旧合化労連）化学一般埼玉県本部書記長、同関東化学一般労働組合書記長等を経て、日本労働組合総連合会埼玉県連合会（連合埼玉）の副事務局長（4期8年）、事務局長（3期6年）を務める。

2003年10月から埼玉県労働者福祉協議会の専務理事（2010年3月退任）現在、JEC連合埼玉地連特別幹事、連合埼玉顧問、一般社団法人日本社会連帯機構副代表理事、さいたまNPOセンター理事、キャリアアドバイザー。